

## 【日本人とは？】

### 日本を日本たらしめて

### いるものとは？】

四月二十二日【三十番神様】を真成寺本堂に勧請させて頂いてから、檀家信者さんは勿論のこと、富山県内外からも、沢山の方々がご参詣なされ、【三十番神様】のお力を改めて感じさせられております。本当に尊く、有り難い事でありませう。また、【三十番神様】勧請に際し、布施行をなされた方の中には、「家庭内が整って参りました」。「商売が繁盛しはじめました」等々の、お声も聞く事が出来ました。どうか、これを機会に、神仏様へのご信仰を、より一層深めて頂ければ何よりと、心から念願しております。

さて、当の私も【三十番神様】の御神徳が顕れたのか、大役を拝命することになりました。実は先月の二十三日付けで、北陸教区（富山・石川・新潟・福井）の教区長ならびに、全国日蓮宗青年会（以下、全日青）

の実行委員長という役柄を拝命いたしました。北陸教区長は、北陸四県の代表。全日青とは、各都道府県に点在している単位青年会を集約した組織です。その中で、会長をトップに、各実行委員長が約十名おります。その十名中の一人に選出されたという事です。今回の選出はまさに青天の霹靂といふべき事態でした。自身全く考えてもいなかった出来事だっただけに、本当に驚きました。やるからにはシツカリと任務を全うし、全国の同志である日蓮宗青年僧侶に少しでも夢や希望や目標を与えられる仕事をしたと考えているところです。兎にも角にも今回のご指名は、【三十番神様】の御神徳である様な気が致します。であるならば、天命（天から命じられたこと）であると覚り、沢山のお勉強をして参ります。また、檀家信者さん方には、出張等々で月参りの日にち変更などでご迷惑をおかけする事も、今まで以上にあるうかと思ひますが、この紙面をもってお詫びと、お願いを申しあげます。どうかよろしく願ひします。

ところで、今月号の『人生ハンドブック』からは、【日本人とは？日本を日本たらしめているものとは？日本語（大和言葉）とは？】等々と、日本人とし

て知っておきたい日本の国史（歴史）を掘り起こし、皆様とご一緒に深く味わっていききたいと思っております。

【日本】についての考察は、数年前から早く取り掛かりたいと思っていた項目でした。というのも、日本という国に生まれた私達が、母国である日本を愛していないという日本人があまりにも多く、その根底で蔓延してしまつた個人主義（自分さえ良ければそれでよし）という病氣。病に侵され人心は荒廃し、合理的に便利に物事を処理することのみを追求し続け、今やロボットの如き日本人の方が正義とばかりに我が物顔で、世の中を闊歩しています。お金や社会的功績という地位名誉などの目に見えるものばかりを正義とばかりに追求し続けています。そんな自分さえ良ければ良いという視野の狭い、ロボット人間に本当の幸せ（仕合せ）という感情が湧くことがあるとは思えません。目に見えない道徳心や信仰心、心を込めるなどの不確かなものを排除してしまつた人間の成れの果ての姿が浮き彫りになってきた様に思います。

このままでは、日本人のアイデンティティ（私（日本人）を私（日本人）たらしめているもの）、つまり自分が自分である証（自分の身元）が崩壊してし

まい、日本人が日本人でなくなつてしまいます。日本人の顔をした、異邦人とも言うべき日本人が便利な社会が構築されるに連れて、年々増加の一途を辿っている様に思えてなりません。富山県ではあまり感じませんが、東京なんかだと、同じスピードで歩き、疲れ切つた表情で電車に揺られている方々を眺めていると気の毒にも思えてくるのです。昨年の東日本大震災から、命の尊さ、人は人に支えられて生きています。絆を築く大切さなどを再認識し、目に見えない事物や気持ちがいかに大切なモノであるのかに気がついた方も多かつたのではないかと思います。皆さんは、目に見えない心が大切だという事に、本当の意味で気がついていらっしゃるでしょうか？時には自分の足下を見つめ直す時間も必要なのではないかと思ひます。そんな思いを込めて、今月号から暫くの間【日本】にまつわるお話や偉人伝など、どこまでテーマを掘り下げられる事が出来るか分かりませんが、できるだけ研究を続けたいと思ひます。

はじめに、次のアンケート調査の結果をご報告します。

世界二十カ国の中学三年生を対象

に「先生を尊敬していますか？」と聞いた結果、中国の北京では、尊敬しているという答えが八十・三割・アメリカは八十二・二割。EU十二カ国の平均は八十二・七割。韓国

は二十カ国中トップの八十四・九割でした。さて、日本は何割だと思われませんか？なんと二十一割。実はこの数字、五十割を切ったら国家として危ないとの事です。日本は半分の五十割どころか、五十割の更に半分以下の二十一割です。十人中二人しか「先生を尊敬している」子供がいらないという結果が出たのでした。「先生を尊敬していない」という事は、「親を尊敬していない」に匹敵するのではないだろうか？これほどまでに目上の人、とりわけ先生や、親を尊敬していない子供達が多い国が他にあるのだろうか？このままでは、日本の未来はどうなるのでしょうか？末恐ろしい限りです。

中でこういう話がありました。「親御さんがお家で子供とお話しをする際「校長先生」と仰っているか、あるいは「校長」と敬称抜きで呼んでいるか、はたまた「○○○」等とあだ名の様なものと呼んでいるか、その子供とお話しすると分かりますよ。子供には全く悪気が無いのですが、「こうちよう（校長）」と呼び捨てにする子がいるんですよ。表では「校長先生」と仰っておられても、お家では「あの校長は…」等と呼び捨てにされているのだと思います」と。子供は親の映し鏡です。先のアンケート調査の結果は、各家庭の躰教育の為されていない結果ではないでしょうか？

自分さえ良ければ良いという人が増え、そんな日本の社会を見事に映し出している最近の子供達は、責任転嫁が上手く、その理由を聞いてみると「ああそうか…」と納得してしまいそうになるくらい本当に言い訳が上手い。しかし、その中味は、他人任せで、自分の事しか考えていない子供が多い様に見えます。こんな遺憾なことはありません。

育が悪い。友達が悪い…等々」と、やはり責任転嫁や言い訳が上手なわけです（苦笑）。  
子供は親の背中を見て育つのです。まずは自分が変わる努力をする事です。目に見えないものへの畏れや敬いの気持ちを持つことです。

【他人原因説】…自分が作りだした結果を他人の責任にする。

【自分原因説】…悪い結果を作りだしている、その因子を知る、その因子に気づく。本当に気づくと、もっと気をつけよう、努力しよう、もっと頑張ろう、もっと人の役に立つ人間になろうという、感謝にも似た感情が湧き起こってきます。日本人というのは後者の自分原因説の民族だったはずですが。

当たり前の事を申ししますが、【日本】という国名の由来を、皆さんはご存じでしょうか？【日本】とは「日の本（ひのもと）」、すなわち「我々の国は生命の源である太陽が本となっている」という意識から生み出された国名です。つまり日本人とは、天地自然に生かされているという事を深い意味で知っている、感謝の出来る国民だったはずで

本に生まれたから日本人になるのではありません。その国の国民性や国史（歴史）を知り、その伝統を受け継ぎ、伝承していく中で、ようやく私達は胸を張って、日本人と呼べる様になるのですから。 合掌

副住職 谷川寛敬



す。さて、紙面の幅を超えてしまいました。来月号から【日本】について考えを深めてまいります。私達は日